

# 健やかでやさしい 松前町をつくる

## 障がい者支援

障がい者が快適に生活できるよう、地域福祉活動の推進や在宅福祉施策の充実を図ります。

## 子育て支援

乳幼児と児童の医療費助成について、24年度から、助成期間を誕生日の前日まで延長します。乳幼児保育、延長保育、一時預かり保育を実施する新設の「認定こども園」に補助を行い、子育て支援の充実を図ります。

## 健康づくりの推進

松前町健康増進計画と松前町食育推進計画を一体化した「健康づくり計画」を新たに策定するほか、総合健診や予防接種事業を実施し、町民の健康増進に努めます。

● 心身障がい者福祉事業	3億6,205万円
● 子ども手当給付事業	5億455万円
● 認定こども園事業	6,047万円
● 乳幼児・児童医療費助成事業	7,708万円
● 健康づくり計画策定事業	404万円
● 総合健診事業	3,864万円
● 予防接種事業	9,807万円

## 乳幼児・児童医療費助成事業



### INTERVIEW\_02

筒井

西村 美加さん家族  
Nishimura Mika



子どもの医療費助成の区切りが、通院、入院限らず誕生日の前日までになるということで、とてもうれしいです。4月に長女が小学生になりました。昨年までの制度なら、通院の医療費助成が受けられなくなるところでしたが、7歳になる11月まで受けられます。経済的負担が減るのでありがたいです。年度で区切られていると、生まれ月によって1年の差が出てしまいます。子どもにとってこの1年の差は大きいです。松前町のこの先進的な取り組みに、我が家だけでなく、大勢の家族が喜んでいと思っています。

# 安全・安心・快適な 松前町をつくる

## 消防・防災の充実

東日本大震災を教訓に、安全・安心なまちづくりに迅速かつ的確に対応するため、防災担当の副町長を新たに置き、町民総参加で地域防災力を強化します。

## 防犯・交通安全の充実

交通死亡事故ゼロのまちづくりを目指し、事故の起きやすい場所を知らせる「交通事故危険箇所マップ」を作成して配布します。

## 環境・景観の保全と創造

町民全員でごみ減量化に取り組むため、環境教育のリーダーとなる子どもたち100人を公募し、「子ども環境学園」を開催します。また、生ごみリサイクルプランの策定や資源ごみの持ち去り対策を行います。

● 交通事故を減らすまちづくりプロジェクト事業	99万円
● 子ども環境学園事業	153万円
● 廃棄物・資源物収集運搬処理事業	1億9,173万円
● 生ごみリサイクル事業	214万円
● 資源ごみ持ち去り対策事業	66万円
● 町管理排水施設維持管理事業	300万円
● 浸水対策事業	2,210万円

## 子ども環境学園事業



### INTERVIEW\_01

省エネルギー普及指導員  
(環境学園に講師として参加)

八束 典子さん  
Yatsuzuka Noriko



子どもたちが体験を通して学ぶ「子ども環境学園事業」は、とてもいい取り組みだと思います。体験から学習を広げていくと、関心、興味を広げることにつながっていくと思います。現状を知り、課題を見つけ、考え、主体的に行動できる子どもたちが育つことを期待します。私もソーラーランタン作りを通して楽しく学んでもらおうと計画中です。課題は、子どもたちが学んだことをどう広げていくかではないでしょうか。すぐ結果が出るものではないからこそ、継続することが大切だと思います。



平成24年度町政方針  
水きらめき  
笑顔あふれる  
ライフタウンまきぎ  
目指して

3月2日(金)に開会された松前町議会第1回定例会の冒頭、白石町長は、平成24年度の町政方針を述べました。町政方針は、この1年間の町の進むべき指針を示すものです。今月号では、24年度の町政方針と予算を、第4次松前町総合計画の6つの注に沿って紹介します。

## ◎皆さんに知ってほしいこと

▶町には、まちをよりよくするために目指すものがあります。(第4次松前町総合計画)▶それを実現するために、平成24年度に取り組むこと、町の進むべき方向を決めています。(町政方針)▶そのためのお金のやりくりも計画済みです。(当初予算)▶では、もう決まっているのにどうしてお知らせするのでしょ。▶例えば家庭で考えてみましょう。家族旅行のために節約することを、お母さんだけが計画して行動するよりも、お父さんも子どもも理解して一緒に行動する方が、節約も上手くいくし、実現した旅行もずっと楽しいですね。▶つまり、町の目指すものも、町民みんなで共通認識を持って、一緒に行動する方が上手くいくのです。まちの主役は皆さんですから。皆さんの幸せと、松前町の将来のため、「みんなと一緒に」知って、行動しましょう。

# みんなで力を出し合う 松前町をつくる

## コミュニティの育成

地域の皆さんが利用する集会所や広場などのコミュニティ施設の整備費用を助成し、地域の生活福祉の維持向上を図ります。

## 協働のまちづくりの推進

社会福祉協議会内のボランティア団体に対し活動費を助成し、ボランティア団体の効果的な活動を推進します。

- コミュニティ施設整備事業 610万円
- NPO・ボランティア団体活動推進事業 238万円

## NPO・ボランティア団体活動推進事業



### INTERVIEW\_06

松前町ボランティア連絡協議会  
会長  
丸田 力さん  
Maruta Tsutomu



ボランティア連絡協議会は、町内のボランティア団体が定期的集まり、情報交換したり、研修に参加したり、他市町の団体と交流したりしています。隣のグループがどんなことをしているかを知ること、自分たちの活動の課題が分かり、励みになります。こうした活動のようにボランティアを育てるには活動資金が必要です。もちろん、イベントなどを通じて自分たち自身で資金づくりをしています。苦労しているのが事実。町の支援に感謝です。支援を大切に、少しでもボランティアの輪を広げたいです。

# 飛躍を支える松前町の 基盤をつくる

## 市街地の整備

敷地の寄付を受けて町が老朽放置建物を除去することで、住環境の改善を図ります。

## 住宅施策の推進

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断、設計と耐震改修の費用の一部を助成します。

## 道路・交通網の充実

道路補修を計画的に実施し、道路環境の改善と交通の安全を確保します。

## 情報化の推進

小中学校などに導入している情報通信系端末を更新し、安定した情報ネットワークの構築を図ります。庁舎の情報系端末に管理ソフトを導入し、情報セキュリティ対策の強化を図ります。

- 松前町老朽放置建物除去事業 967万円
- 松前町木造住宅耐震事業 536万円
- 町道等維持事業 2,540万円
- 町道整備事業 8,370万円
- 情報管理事業（インターネット基盤整備） 640万円

## 松前町木造住宅耐震事業



### INTERVIEW\_05

徳丸

深野 基嗣さん家族  
Fukano Mototsugu



中古住宅の我が家。北側はリフォームしていますが、南側は築50年の平屋です。耐震性について心配していたので、無料耐震診断に申し込みました。コンクリートの強度など、しっかり調べていただきました。南は耐震性が弱いという結果でしたが、何より「知る」ことができてよかったです。診断後、寝室は北側にしたり、重い戸棚は置かないようにしたりしています。現在は設計や工事費用の補助もあるそうなので、利用を検討してみます。町がこうして支援してくれるのはとてもありがたいこと。積極的に利用していきたいです。

# 豊かでにぎわいのある 松前町をつくる

## 農水産業の振興

農業従事者の労力の軽減や経費の削減を図るため、各種土地改良事業を実施し、農業経営の安定に向けた取り組みを支援します。

安全性・生産性の向上を図るため、老朽化した船揚場などの漁業施設を計画的に改修します。

## 商工業の振興

農業、漁業と商工業関係者が連携して町内産業を発展させるための検討協議会を新たに設立し、地場産業を掘り起こします。

- 水田農業経営確立対策事業 322万円
- 土地改良事業 1億3,578万円
- 漁業振興育成対策事業 901万円
- 商工総務管理事業 291万円
- 地場産業推進事業 42万円
- 商工振興育成対策事業 726万円

## 地場産業推進事業



### INTERVIEW\_04

松前町商工会  
会長  
三好 茂さん  
Miyoshi Shigeru



まさき村で農水産物の販売を始め、商工業、農業、漁業の結びつきができてきた。今後は、まさき村で加工品を作り販売したいです。こうした販売や義農祭などのイベントを通じて松前の産業をアピールできれば町外からも大勢の人が来てくれるはず。地域が活性化するだけでなく、松前のことを知ってもらえるチャンス。地域産業の活性化は、地域に住む人が主体となって取り組むべき。方向性を見つけ、応援するのが商工会や行政の役目。地域の皆さんからアイデアをいただき、それを支援する仕組みができればと思います。

# 人と文化が輝く 松前町をつくる

## 学校教育の充実

幼稚園、小中学校施設の耐震対策を最優先で実施し、子どもたちの安全の確保と、災害時の避難所機能の充実を図ります。

## 生涯学習の推進

舞台照明設備など引き続き文化センター施設を改修し、使用者が快適に利用できるようにします。

## スポーツの振興

平成29年愛媛国体開催に向け、会場地として内定した競技の広報事業を実施し、整備計画を策定します。

## 国際化・交流活動の推進

姉妹都市の北海道まつまえ町と、小学生らが互いに交流し、友好親善の拡大を図ります。

- 学校耐震化事業 1億3,955万円
- 給食センター設備整備事業 883万円
- 文化センター維持管理事業 3,451万円
- 愛媛国体開催準備事業 198万円
- 姉妹都市交流事業 245万円

## 愛媛国体開催準備事業



### INTERVIEW\_03

松前町体育協会ホッケー部  
代長  
田口 勝久さん  
Taguchi Katsuhisa



愛媛国体では、松前がホッケーの開催地。地元の応援を受けながら活躍する子どもたちを育てたいです。毎週土曜日の午前中、松前公園でホッケー教室を開催しています。今までの教室は小学生を対象としていましたが、23年度から中学生も対象にしました。本年度の目標は6人制で全国大会に出ること。愛媛国体に向けて、松前のホッケーを盛り上げていきたいです。まず必要なのは、ホッケーを町民の皆さんに知ってもらうことだと思います。松前公園で練習しているのはそのためです。気軽に見に来てもらいたいです。

平成 24 年度予算規模 (単位:千円、%)

	24 年度	23 年度	増減率
一般会計	8,930,307	9,783,853	△ 8.7
国民健康保険特別会計	3,389,206	3,278,450	3.4
後期高齢者医療特別会計	377,933	334,108	13.1
介護保険特別会計	2,539,983	2,395,183	6.0
公共下水道事業特別会計	579,740	740,266	△ 21.7
特別会計 合計	6,886,862	6,748,007	2.1
水道事業会計 (企業会計)	916,737	923,947	△ 0.8
総 額	16,733,906	17,455,807	△ 4.1

# 以上のよ うな内容で編成した平成 24 年度の一般会計当初予算は 89 億 3,030 万円 (前年比 8.7% 減)

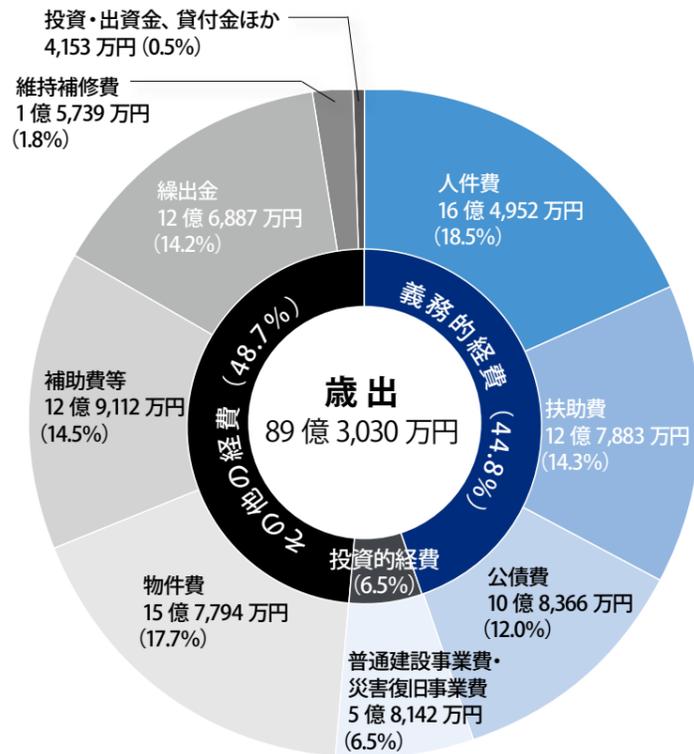
予算とは、1 年間に見込める収入 (歳入) と、何にいくら使うのか (歳出) をいいます。町には全部で 3 つの財布があります (一般会計、特別会計、企業会計)。その中の一つ、基本的な会計である「一般会計」について説明します。

## 使うお金 (歳出)

歳出は、「義務的経費」と「投資的経費」、「その他の経費」の 3 つに分けられます。「義務的経費」は、町の運営のために必ず支払わなければならない経費のことです。「投資的経費」は、施設や道路などを造るために使う経費で、生活基盤を整備するものです。

下記の目的別の歳出のうち、前年度に比べ、農林水産業費は JR 貨物基地周辺整備事業などを行うため 7,795 万円の増、衛生費は共立衛生組合・ごみ処理施設組合に対する負担金などで 7,195 万円の増、商工費は消費者行政啓発事業を行うことなどで 1784 万円の増となりました。

※ 1 万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。



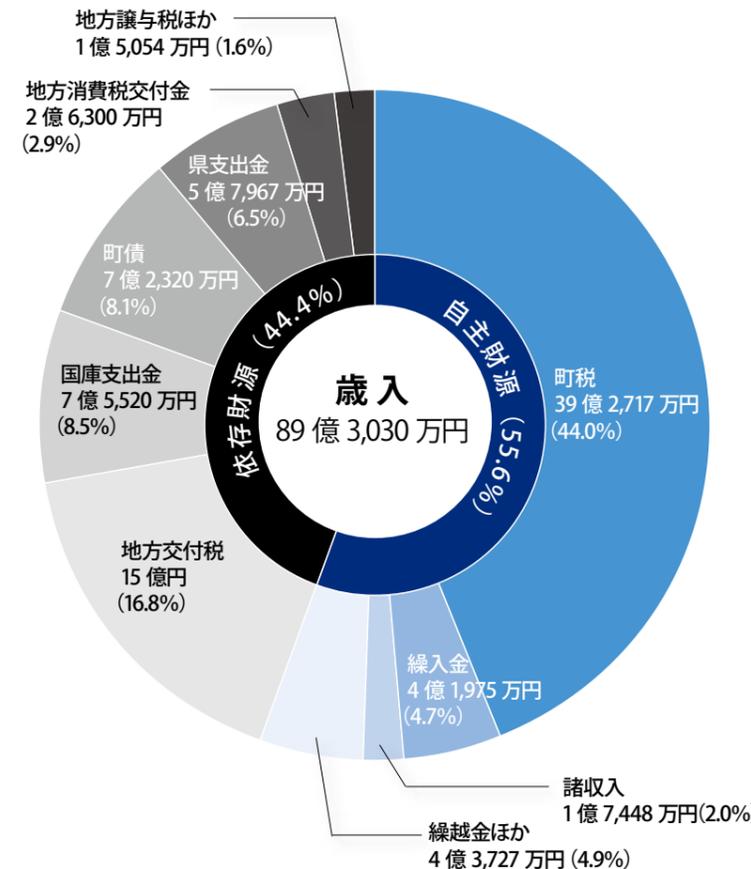
## 入るお金 (歳入)

歳入は、「自主財源」と「依存財源」の 2 つに分けられます。

「自主財源」は、町税をはじめ、町が自主的に収入できるお金です。「依存財源」は、国や県から交付されるお金や借金をいいます。

自主財源が多いほど町の運営は安定し、独自性を保つことができます。

24 年度は、固定資産税の減収により、町税が減少すると見込んでいます。また、社会保障関係費と普通建設事業費が減ったため、国庫支出金と県支出金も減少しています。



## 用語解説

一般会計	町の運営の基本的な経費を一つにまとめた会計	県支出金	事業を行うための県からの負担金・補助金など
特別会計	一般会計と区別して経理する必要がある会計	町債	事業を行うために借入のお金
企業会計	民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計	人件費	職員の給与や議会議員の報酬など
町税	皆さんが納める税金や会社の法人町民税など	扶助費	法令などに基づいて被扶助者に支給される経費
繰入金	貯金である基金などから一般会計へ繰り入れるお金	公債費	事業を行うために借りたお金の償還金
諸収入	預金利子や町が融資した貸付金の返済金など	物件費	消耗品、臨時職員賃金や業務委託料など
国庫支出金	事業を行うための国からの負担金・補助金など	繰入金	一般会計から特別会計などへ繰り出すお金
		積立金	貯金である基金へ積み立てるお金

<b>歳出を目的別で分けると</b>           
--